

北海道拓殖鉄道 学習レポート

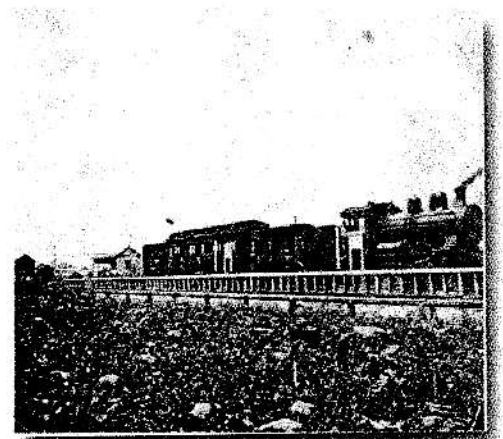
～拓殖と共に～

皆さんは鹿追に拓殖鉄道があったことを、ご存じだろうか？そして、今年で拓殖鉄道開業95周年を迎えた。(5年後には100周年)拓殖鉄道に乗っていたたくさんの人々は何を思い、何を感じて見送ったのだろうか？

【沿革】1928年、12、15 新得～鹿追開通。1929年、11、26 鹿追～中音更。1931年11、15 中音更～上士幌。1949、9、1 東瓜幕～上士幌廃止。1967年、10、1、瓜幕～東瓜幕。1968年、2、10、屈足～瓜幕廃止。1969年、9、1、全線廃止となっている。

拓殖は当初から経営は厳しく、補助金を受けなくてはいけない状態だった。そして、1962年に台風9号での被害も多く、屈足で連絡していた森林鉄道の廃止と重なり、経営はますます苦しくなっていた。

鹿追町に訪れた時は、ぜひ拓殖鉄道の跡が残っている瓜幕の公園に来てみてはどうだろうか。



感想

私の祖父は、中学3年生の時に修学旅行で瓜幕駅から出発し、函館までいったそうだ。そして、私の父も1度乗ったことがあると言っていた。

八木満さんというかたはとても拓殖に詳しく、資料館に行き、何年もの月日を得て本を作ったそうだ。(その本は、わたしの曾祖母が持っていたそうだが、他界してしまい本の場所は分かっていない)もし、その本を見つけたら自分で調べてさらに詳しく拓殖鉄道について知りたい。

あとがき

この新聞を作るのに一番苦勞したのは、一番上のコーナー。その理由はたくさん書いた言葉の中から、重要なことや大切なことを選ばなくてはいけなかったからだ。これからも、拓殖などのことについて調べていきたい。そしてもっとたくさんを知って、次の世代に伝えていきたい。

時間をさいてまで来てくださったたくさんの方に感謝しています。ありがとうございました。

